

9月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
04/09/01 (水)	・東京は新規取引に乏しいなか小幅にドル高、ロシアの報道を受けて対ユーロでドルが若干買い進められた。 ・欧米は逆にドル安。米テロ懸念からドルが嫌気された。しかし円も買い難く、結局ユーロの一人勝ち。	・浅間山が噴火 ・8月の米ISM製造業景況指数59.0 ・7月の米建設支出+0.4%	・ロシア南部で武装グループが学校を占拠、200人以上を人質に ・「ワシントンDCのオフィスビルで異臭、救急車出動」(テロ思惑台頭するも、スプレーを使ったイタズラと判明)	109.15	132.99	24H
				108.92	132.71	寄付
				109.72	133.71	安値
				109.50	133.47	高値
				109.50	133.47	終値
04/09/02 (木)	・東京は積極的な取り組み少なく、レンジ内で揉み合い。翌日の米雇用統計待ちの様相。 ・欧米も小動き続く。噂や憶測は少なくなかったが値動きに繋がらず。ただ豪ドルは全面安推移。	・8月の独失業増が+2.4万人 ・ECB理事会で金利据置き決定 ・週々ス米新規失業保険申請件数36.2万件、第2Q米非農業部門労働生産性確報2.5%、7月の米製造業受注+1.3%	・福井日銀総裁「いまは量的緩和をしっかりと継続する段階」 ・米共和党大会開催を受け、ブッシュ氏が「良い内容の米雇用統計をリリースする」との噂あり	109.50	133.47	24H
				109.20	132.77	寄付
				109.63	133.58	安値
				109.46	133.28	高値
				109.46	133.28	終値
04/09/03 (金)	・東京は米雇用統計が好数字になるとの期待からドル買い先行。しかし終盤期待が割れ、行って来い。 ・欧米はドル独歩高の様相。良好な米雇用統計を受けて米早期利上げ説強まるとドル買いを後押し。	・8月の米失業率5.4%、同非農業者雇用数14.4万人、同時間給賃金+0.3%、同ISM非製造業景況指数58.2	・APEC共同声明「より柔軟な為替制度への移行が必要」 ・ロシア学校占拠事件は特殊部隊が突入し現場を制圧、負傷者500人以上に	109.46	133.28	24H
				109.09	132.25	寄付
				110.69	133.59	安値
				110.48	133.26	高値
				110.48	133.26	終値
04/09/06 (月)	・東京は早期発表された法人企業成長が良好となったことでGDP上方修正思惑高まり円が小幅高。 ・米市場が休場となることもあり、欧米タイムは動意薄。積極的な売買見送られレンジ内での揉み合いに。	・第2四半期法人企業統計設備投資は前年比+10.7% ・レバレッジで米市場休場		110.50	133.26	24H
				109.95	132.61	寄付
				110.60	133.41	安値
				110.15	132.90	高値
				110.15	132.90	終値
04/09/07 (火)	・東京は株価が堅調に推移したうえ、発表された経済指標が予想通りながら良好で円買い進む。 ・欧米は各国金利動向を睨む展開。利上げ確実な加ドル高の一方で、英ポンド大幅安。円も小じっかり。	・7月の景気先行指数66.7%、同一一致指数77.8% ・7月の英鉱工業生産指数 0.3% ・7月の独鉱工業生産指数+1.6%	・米有力情報社が「円買い推奨」のレポート送信の噂	110.13	132.39	24H
				109.23	132.02	寄付
				110.23	132.99	安値
				109.33	132.87	高値
				109.33	132.87	終値
04/09/08 (水)	・東京でもっともアタフタなのは豪ドル。金利据置き報道などから失望売り進む。 ・欧米はグ議長が景気に楽観的な見通しを示すとの噂からドル買い先行。しかし結果は行って来い。	・豪州が政策金利据置き決定 ・カナダが政策金利を25BP引き上げ ・米地区連銀報告「経済は拡大続く、一部地区でペースが減速」	・「英BAが保有する豪カックス株の一部売却」との報道あり ・「FRB議長「米経済は引き続き拡大方向。原油高がなければ非常に楽観的になれる」	109.34	133.15	24H
				109.03	131.78	寄付
				109.79	133.24	安値
				109.33	132.38	高値
				109.33	132.38	終値
04/09/09 (木)	・東京は円安。早朝は円高気味に推移したが予想外の機械受注悪化を受けてレンジが反転した。 ・欧米は結果ユーロが独歩高。経済指標悪化で円買い難いなか、イェン発言でドル売り進む。	・ニュージーランドが政策金利を25BP引き上げ ・7月の経常黒字は1兆6334億円 ・日銀が政策金利据置き決定 ・7月の機械受注 10.3% ・英国が政策金利据置き決定	・ジャカルタの豪大使館近くで爆発あり ・スノ米財務長官「ドルの水準にはコメントせず」 ・イェンSF連銀総裁「ドルが現状水準を維持すれば長期的に米貿易赤字拡大」	109.32	133.21	24H
				109.13	132.97	寄付
				110.01	134.01	安値
				109.66	133.94	高値
				109.66	133.94	終値
04/09/10 (金)	・東京で円は独歩安。GDP改定値が予想外の下方修正となり、海外勢などを中心に円売りが殺到した。 ・欧米はドルが小幅に弱含み。PPIのマイナスを受けて米金利先高感が後退、テロ懸念とともにドル売り材料に。	・第2四半期GDP改定値+0.3%と下方修正 ・7月の米貿易赤字は501.5億ドル ・8月の米PPIは 0.1%	・イェンSF連銀総裁「米国の貿易赤字反転にはドルの関与も必要」 ・「米ネチカ州の教会で爆破事件発生」との噂あり	109.67	133.95	24H
				109.19	133.76	寄付
				110.32	134.94	安値
				110.02	134.41	高値
				110.02	134.41	終値
04/09/13 (月)	・東京はレンジ内で揉み合い。ドル、円とも弱材料抱え方向性を出す決め手に欠けた。 ・欧米は再び円安。英国債の起債などにともなう円売りが断続的に観測され、加スを中心に円は弱含み。	・8月の米財政赤字は411億3600万ドル	・早朝に「北朝鮮北部で週末に大規模爆発、キノ雲観測」との報道 ・米USIAが連邦破産法11条の適用申請 ・細川財務次官「景気回復先取りする急激な金利上昇は望ましくない」	109.50	134.29	24H
				109.27	134.12	寄付
				110.35	135.10	安値
				110.02	134.85	高値
				110.02	134.85	終値
04/09/14 (火)	・東京はこの日も揉み合い。ただ終盤はバグダッドのテロ懸念などからドル小安い。 ・欧米も大きな動きなし。材料乏しく、ドル/円は109円台後半を中心とした一進一退に終始した。	・7月の鉱工業生産確報は0.0% ・9月の独ZEW景況感調査38.4 ・8月の米小売売上高は 0.3% ・第2四半期の米経常赤字は1661.77億ドル	・「バグダッドで自動車爆弾が爆発、死者数十名」との報道あり	110.00	134.90	24H
				109.36	134.07	寄付
				110.13	135.09	安値
				109.62	134.73	高値
				109.62	134.73	終値
04/09/15 (水)	・東京はコト一日仲値不足思惑などからドル高・円安気味の展開となるも続かず。終盤に息切れ。 ・欧米はドル高。良好だったNY州製造業景況指数を好感したドル買い優勢。とくにユーロでドル一段高。	・9月のNY州製造業景況指数は28.34。7月の米企業在庫は0.9%、8月の米鉱工業生産は0.1%、同設備稼働率は77.3%	・「マンチェスター空港で爆発騒ぎ」の噂 ・OPEC総会で生産枠の100万バレル拡大合意なされる ・ニッケルBOE金融政策委員会メンバー「英国の弱い経済データが続けば追加利上げはないかもしれない」	109.61	134.34	24H
				109.29	133.59	寄付
				110.38	134.37	安値
				110.00	133.66	高値
				110.00	133.66	終値

* 製作・著作：「FXニュースレター」

URL: <http://www.fx-newsletter.com/>